



80年代、タイの難民キャンプで文字を教えるスタッフ

「なんとかしたい!」の思いがJVCの始まり

日本国際ボランティアセンター(JVC)は1970年代末、
政情不安定なカンボジアやラオスから
何十万もの人々がタイの難民キャンプに逃れてきたときに、
「自分たちも何かできないか」とキャンプに駆けつけた
日本の若者たちが集まり、1980年、タイで結成されました。

問題の根本にこだわる。人間の力にこだわる。

難民キャンプでの活動を通して、難民になった人を支援するだけでは
人々が難民という過酷な状況に陥ってしまうことの本当の解決にはならない、
ということにJVCは気づきます。

これ以上難民を出さない社会にするためには、何が必要なのか――。

足りないものをあげるのではなく、つくる方法を一緒に考える。

紛争で傷ついた人を助けるだけでなく、紛争を起こさない道をつくる。

「問題の根本にこだわる」、「現地の人々の力を引き出す」。

この思いがJVCの活動を貫いています。